

北海道の新型コロナウイルス感染症対策警戒ステージ2への移行にともなう
北海道U15バスケットボール選手権大会における感染症対策の徹底および強化のお願い

(一財)北海道バスケットボール協会

10月28日より11月10日までの2週間、道のコロナ感染症感染警戒ステージ2へ移行したこと、また、その後、新規感染者数も増えていることなどを総合的に判断し、これまでお願いしてきた感染症対策を徹底してもらうことに加えて、以下のような対策強化を実施いたします。ご理解とご協力をお願いいたします。

1. 大会参加にあたり、今一度「JBAバスケットボール活動再開ガイドライン（手引き）第2版（2020年9月10日作成）」の確認をしてください。特に「競技会/講習会等の実施可否判断の考え方について（p.33～p.40）」を熟読し、各チームの現状を把握したうえで、大会参加の可否を判断してください。ただし、各チームの所属長（学校長）の判断を最終判断とするようお願いいたします。

出場を辞退する場合や出場可否の判断に迷う場合は、すみやかに担当者（和田）に連絡するようお願いいたします。

2. 大会会場へ入場する際に、チェックリストの提出を義務付けていますが、加えて入場前のスタッフ・選手全員の「検温」を実施することとします。検温のために選手を整列させるなどのご協力をお願いいたします。
3. 弁当、あるいは記念Tシャツなどを大会当日に受け取ることになっている場合は、業者等の会場への入場を規制していることから、受け渡しは、必ず会場の外で行うようお願いいたします。
4. 選手の送迎のため保護者の自家用車を利用する場合において、車内でのマスクの着用など、十分な感染症対策を講じてもらうように、各チームで保護者への啓蒙を再度お願いいたします。また、バス等の公共交通機関を利用する際にも、マスク着用、隣との間隔をあける、手指消毒の徹底、出来るだけ会話を少なくする等の感染症対策を行うようお願いいたします。
5. 大会時には、各自でマスク、ハンカチ、ティッシュ、マスクを置く際の清潔なビニール袋やハンカチ等、また利用済みのマスクやティッシュを捨てるためのビニール袋、宿泊する選手は体温計を持参するよう推奨します。
6. チームで行動する際は、可能な範囲で「密を避ける行動」に留意し、各所の設備を利用した際には手洗い・消毒等を定期的に行うとともに、行動経路・範囲を厳格に計画し、記録するようお願いいたします。【感染範囲の特定の為】

7. 宿舎においても食事、入浴、就寝の時間以外は、マスク着用の徹底、特にミーティングを行う場合は、換気や人と人との距離を確保した上で、実施するようにしてください。食事は可能な限り、一人ずつのセットメニューでの提供を基本としていただくよう宿舎等をお願いしてください。
※食品を介して新型コロナウイルス感染症に感染したとされる事例は報告されていません。
(場合により、時間差をつけた交代制での食事提供、定員を削減した入浴施設の利用等のスケジュール調整・検討等を含む)
8. 大会前日から大会中の発症者発生時(かぜの症状が見られた場合も含む)には、速やかに発症者の隔離・看護を行い、濃厚接触者の特定と隔離・健康観察を行ってください。管轄保健所と医師の判断に従い、発症者と濃厚接触者への対応を行い、それらの関係者の意見を参考に、大会本部と事後の行動(試合の可否等)に関する検討を行います。【JBA バスケットボール活動再開ガイドライン(手引き)に準ずる】
9. 体調不良者や発症者が出た場合、該当者が誹謗中傷を受けないようにチーム内でのケアに十分な配慮をお願いいたします。

以上9点ですが、安全・安心に大会を開催するために、ご理解とご協力をお願いいたします。